

IR資料

-2024年3月期 第3四半期-

2024年02月08日
ニプロ株式会社



目次

事業の概況	2
2023 年度 3Q 業績	3
販売費および一般管理費 主要科目	4
販売費および一般管理費 補足	5
販売費および一般管理費 研究開発費	6
設備投資額・減価償却費	7
為替影響を除いた損益比較	8
為替感応度	9
事業セグメント別 売上高・営業利益	10
セグメント業績 - ①医療関連事業（国内）	11
セグメント業績 - ①医療関連事業（国際）	12
セグメント業績 - ②医薬関連事業	13
セグメント業績 - ③ファーマパッケージング事業	14
セグメント別・製品群別の売上高	15
セグメント別・地域別の売上高	16
製品分類表	17
製商品別売上高	18、19

事業の概況

製造・購買・物流

2023年度のダイアライザライン(インド、秋田大館)の新設は下記。

秋田大館工場の8ライン目は予定通り10月に稼働を開始し、2024年4月に9ライン目の新規稼働予定。

2023												2024			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
	インド ダイアライザ 4ライン目 新規稼働	大館 第5工場 火災発生 ダイアライザ生産ライン 一部損傷							大館工場 ダイアライザ 8ライン目 新規稼働						大館工場 ダイアライザ 9ライン目 新規稼働予定

販売

- 透析用医療機器 : ダイアライザは北米でコロナ期間中の物流遅延に備えて現地代理店が積み上げた在庫を消化するべく、一時的に販売が停滞しているが、中国、ヨーロッパ、アジアで好調。中南米にて透析センターが拡大。
- 循環器用医療機器 : 国内独占市場であった薬剤溶出バルーンが、他社参入による影響により販売減。
- 外科用医療機器 : HeartMate3が保守売上を含め、引き続き堅調に推移。
- 自社医薬品 : 経口剤はネキシウムAG販売が好調、注射剤は不採算再算定品目の薬価UPで大きく伸長。
- 受託医薬品 : 日本では顧客の在庫調整によって経口剤が前年対比で減少したが、注射剤は新規受託品の出荷開始等によって販売増加。海外はJMIファーマの販売が堅調に推移。
- ファーマパッケージング : 生地管は欧州、米国にて円安の影響と販売価格へのコスト転嫁により販売増加。米国のバイアル価格の引き上げ、欧州のアンプルの需要増により販売増加。

臨床試験

臨床試験の実施や承認申請への大きな影響はなし

第13回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（ソーシャルボンド）の発行（10月6日）

ソーシャルファイナンス・フレームワークに記載の国内事業および国際事業のプロジェクトに対する設備投資資金として、全額を2024年9月末までに当社大館第7工場のダイアライザ製造ラインの増設に充当する予定

2023年度3Q 業績

	2022年度	2023年度	増減額 (増減率)	2023年度	2023年度
	3Q	3Q		通期予想 (5月時点)	通期予想 (11月時点)
売上高	4,063.0	4,391.3	+328.3 +8.1%	5,992.4	5,992.4
売上原価	2,843.5	3,070.6	+227.0 +8.0%	4,194.6	4,199.1
売上総利益 (※1)	1,219.4 30.0%	1,320.7 30.1%	+101.2 +8.3%	1,797.7 30.0%	1,793.3 29.9%
販売管理費	1,087.6 26.8%	1,097.0 25.0%	+9.4 +0.9%	1,557.7 69.8%	1,553.3 70.6%
営業利益	131.7 3.2%	223.6 5.1%	+91.8 +69.7%	240.0 4.0%	240.0 4.0%
経常利益 (※2)	137.7 3.4%	200.1 4.6%	+62.3 +45.3%	206.5 3.4%	206.5 3.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	69.6 1.7%	126.2 2.9%	+56.6 +81.4%	112.0 1.9%	112.0 1.9%
IFRSに準拠した場合の 当期純利益(概算額)	86.6	143.8	+57.2 +66.1%	133.0	133.0

2022年度	四半期別業績推移			2023年度 3Q	
	2023年度				
	4Q	1Q	2Q		3Q
1,272.3	1,405.9	1,452.7		1,532.7	
886.2	975.3	1,025.3		1,070.0	
386.1	430.6	427.4		462.7	
30.3%	30.6%	29.4%		30.2%	
317.4	357.2	365.9		373.9	
24.9%	25.4%	25.2%		24.4%	
68.7	73.3	61.5		88.8	
5.4%	5.2%	4.2%		5.8%	
81.1	89.0	58.3		52.8	
6.4%	6.3%	4.0%		3.4%	
37.3	40.9	58.4		26.9	
2.9%	2.9%	4.0%		1.8%	

(※1) 売上総利益への
未実現利益の影響額

2022年度3Q
2023年度3Q

△14.8億円
△6.0億円

(※2) 為替損益

2022年度3Q
2023年度3Q

+30.7億円
+13.1億円

- 売上高 国内では医薬ネキシウムAGの販売好調と不採算再算定による注射剤の薬価上昇により増加。海外では円安影響もあり、医療機器は全地域で販売が好調、ファーマパッケージングは欧米で生地管の販売が増加。
- 売上総利益 労務費、エネルギー費、償却費が増加したものの、仕入原価が減少したため、売上総利益は対前年で微増。
- 営業利益 海外のコンテナ費用の下落による運送費減少に加え、研究開発費の抑制により、営業利益は対前年で91.8億円増加。
- 経常利益 為替差益が17.6億円減少したものの、経常利益は対前年で62.3億円増加。
- 当期純利益 子会社の持分譲渡損16.7億円発生するも、政策株式の売却益が31.8億円増加し、当期純利益は対前年で56.6億円増加。

販売費および一般管理費 主要科目

【販売費および一般管理費】

単位:億円	2022年度 3Q	2023年度 3Q		増減	増減率	2023年度 5月時点 通期予想	2023年度 11月時点 通期予想
		実績	構成比				
人件費	321.1	362.2	33.0%	+41.1	+12.8%	474.2	504.2
研究開発費(※1)	157.5	133.3	12.2%	△24.2	△15.4%	190.5	170.8
運送費	167.4	105.3	9.6%	△62.1	△37.1%	186.4	140.0
償却費(※2)	86.5	97.9	8.9%	+11.4	+13.2%	115.3	132.0
販促費(※3)	75.4	74.0	6.7%	△1.4	△1.9%	102.0	102.0
旅費交通費	33.6	41.0	3.7%	+7.4	+22.0%	47.2	53.0
保管料	26.5	27.9	2.5%	+1.4	+5.3%	35.3	35.3
上記以外の科目	219.3	255.1	23.3%	+35.8	+16.3%	406.6	416.0
合計	1,087.6	1,097.0	100.0%	+9.4	+0.9%	1,557.7	1,553.3

(※1) 研究開発費・試験研究費・開発償却費

(※2) 減価償却費・のれん償却費

(※3) 販売手数料・見本品費・広告宣伝費・交際接待費

- **人件費** 海外における円安影響とインフレ対応に加え、従業員増加により、前年対比で41.1億円増加。
- **研究開発費** 対前年より24.2億円減少。主な要因は次スライドにて説明。
- **運送費** 海外におけるコンテナ運賃等が昨年末から相場下落したことにより、前年対比で62.1億円減少。
- **償却費** ネキシウムAGのライセンス償却費などにより、前年対比で11.4億円増加。
- **旅費交通費** コロナ影響緩和に伴い対面での営業活動や出張を徐々に再開していることから前年対比で7.4億円増加。
- **上記以外の科目** 次スライドにて主な増加要因を補足説明。

販売費および一般管理費 補足

【販売費および一般管理費 補足】

単位:億円	2022年度 3Q	2023年度 3Q		増減	増減率	2023年度 5月時点 通期予想	2023年度 11月時点 通期予想
		実績	構成比				
支払手数料	39.6	41.8	3.8%	+2.2	+5.6%	62.6	67.0
賃借料	35.5	37.8	3.4%	+2.3	+6.5%	60.6	51.0
事業税等	9.4	11.1	1.0%	+1.7	+18.1%	19.7	17.0
会議費	5.0	6.6	0.6%	+1.6	+32.0%	9.2	9.2
包装費	1.0	2.5	0.2%	+1.5	+150.0%	3.3	3.3
その他	128.5	155.0	14.1%	+26.5	+20.6%	251.2	268.5
合計	219.3	255.1	23.3%	+35.8	+16.3%	406.6	416.0

- **支払手数料** 販売委託に伴う手数料や透析装置の開発・保守の委託費が増加したことにより、前年対比で2.2億円増加。
- **賃借料** 国内医療機器、医薬品物流倉庫の移転・拡大により、前年対比で2.3億円増加。
- **事業税等** 増資により、前年対比で1.7億円増加。
- **会議費** 新型コロナ影響の緩和に伴い対面での会議が再開され始めたことにより、前年対比で1.6億円増加
- **包装費** 本社移転による住所変更に伴う改版代により、1.5億円増加。

販売費および一般管理費 研究開発費

【研究開発費(内訳)】

	2022年度 3Q	2023年度 3Q	増減 (増減率)	通期予想 2023年度 5月時点 (進捗率)	通期予想 2023年度 11月時点 (進捗率)
単位:億円					
医療	68.4	65.3	△3.0 △4.4%	88.1 74.2%	81.2 80.5%
医薬	86.4	65.7	△20.7 △24.0%	99.5 66.0%	86.5 75.9%
ファーマ パッケージング	2.8	2.3	△0.5 △17.5%	2.9 79.1%	3.1 74.0%
合計	157.5	133.3	△24.2 △15.4%	190.5 70.0%	170.8 78.1%

- **医療** 前年は冠動脈用薬剤溶出ステントに係る治験費用を計上していたため、今年度は前年対比で3.0億円減少。
- **医薬** 前年は各種治験の実施が多かったことにより、前年対比で20.7億円減少。
- **PP** 新たなガラス製品の開発費用については、前年対比で0.5億円減少。

設備投資額・減価償却費

	設備投資額						減価償却費				
	2022年度 3Q	2023年度 3Q	増減額 (増減率)	通期予想 2023年度 5月時点 (進捗率)	通期予想 2023年度 11月時点 (進捗率)	通期予想 2023年度 2月時点 (進捗率)	2022年度 3Q	2023年度 3Q	増減額 (増減率)	通期予想 2023年度 5月時点 (進捗率)	通期予想 2023年度 11月時点 (進捗率)
単位：億円											
医療関連	341.7	332.4	△9.3 △2.7%	197.1 168.6%	306.8 108.3%	381.7 87.1%	161.5	206.3	+44.8 +27.7%	252.6 81.7%	265.4 77.7%
医薬関連	157.6	166.1	+8.5 +5.4%	277.0 60.0%	162.1 102.5%	277.0 3.1%	98.0	110.0	+12.0 +12.2%	154.9 71.0%	147.5 74.6%
ファーマパッケージング	107.3	102.2	△5.1 △4.8%	96.3 106.1%	96.3 106.1%	131.3 77.8%	37.8	47.0	+9.2 +24.3%	60.4 77.8%	63.7 73.8%
その他	21.2	59.8	+38.6 +182.1%	50.9 117.5%	56.1 106.6%	59.8 100.0%	35.4	40.5	+5.1 +14.4%	55.7 72.7%	58.0 69.8%
合計	628.0	660.6	+32.6 +5.2%	621.3 106.3%	621.3 106.3%	849.8 77.7%	332.9	403.9	+71.0 +21.3%	523.6 77.1%	534.6 75.6%

(※) 今年度より、設備投資額の表示形式を検収ベースから計上ベースに変更しております。

● 設備投資額

医療は投資抑制方針のため前年対比で9.3億円減少。

医薬はニプロファーマで前年度に引き続き、近江工場新設費用や伊勢工場シリンジラインの増設費用、埼玉工場のQCセンター新設の費用を計上し、前年対比では8.5億円増加。

ファーマパッケージングは投資抑制方針のため、前年対比で5.1億円減少。

その他は埼玉の医薬品研究所新設工事費用の計上により、前年対比で38.6億円増加。

● 減価償却費

各セグメント共に大きな工期遅延は無く設備が稼働開始しており、減価償却費は予想通りで着地。

為替影響を除いた損益比較

	2022年度 3Q	2023年度 3Q	為替の影響 (※)	影響を除いた 2023年度 3Q	増減率
	[a]	[b]	[c]	[d=b-c]	[d÷a]
売上高	4,063.0	4,391.3	+126.2	4,265.1	+5.0%
売上原価	2,843.5	3,070.6	+68.8	3,001.8	
売上総利益	1,219.4	1,320.7	+57.4	1,263.3	+3.6%
(%)	30.0%	30.1%		29.6%	
販管費	1,087.6	1,097.0	+30.5	1,066.5	
営業利益	131.7	223.6	+26.9	196.7	+49.4%
(%)	3.2%	5.1%		4.6%	
営業外収益	64.7	51.7	△17.6	69.3	
営業外費用	58.7	75.2		75.2	
経常利益	137.7	200.1	+9.3	190.8	+38.6%
特別利益	37.3	51.6		51.6	
特別損失	27.8	30.9		30.9	
税引前利益	147.2	220.8	+9.3	211.5	+43.7%
法人税等	66.5	85.8	+3.6	82.2	
非支配株主に 帰属する純利益	11.0	8.7		8.7	
当期利益	69.6	126.2	+5.7	120.5	+73.2%

※ 昨年レートとの差額で外貨取引合計を円換算
円貨取引における為替の影響は考慮していません

期中平均レート	2022年 1~9月	2023年 1~9月	期末レート	2021年 12月	2022年 3月	2022年 6月	2022年 9月	2022年 12月	2023年 3月	2023年 6月	2023年 9月	2023年 12月
1 USD	129.46	139.55	1 USD	115.02	122.39	136.68	144.81	132.70	133.53	144.99	149.58	141.83
1 EUR	136.62	151.20	1 EUR	130.51	136.70	142.67	142.32	141.47	145.72	157.60	158.00	157.12
1 中国元	19.46	19.72	1 中国元	18.06	19.26	20.38	20.37	19.01	19.42	19.94	20.46	19.93

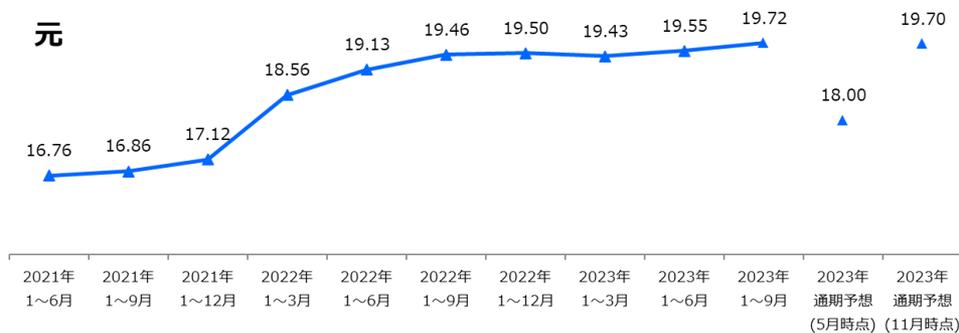
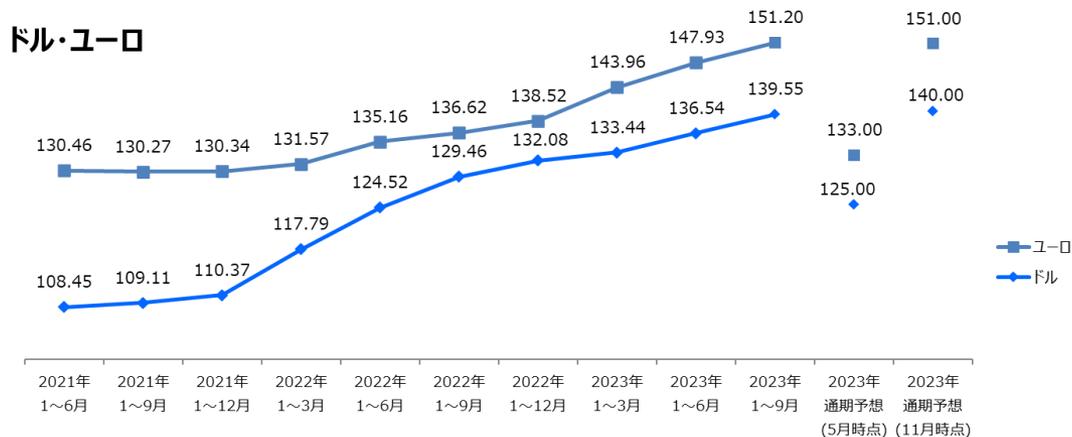
為替感応度

【1円変動による年間影響額】

(億円)

	ドル	ユーロ	元
売上高	8.8	5.3	20.2
営業利益	0.6	1.8	10.3

【期中平均レート】



事業セグメント別 売上高・営業利益

売上高

		【増減額】	【増減率】	2023年度 通期予想 (5月時点)	2023年度 通期予想 (11月時点)
単位：億円					
医療関連事業	2023年度3Q	3,403.4	+261.1	+8.3%	4,602.0
	2022年度3Q	3,142.2			
医薬関連事業	2023年度3Q	542.4	+6.9	+1.3%	797.0
	2022年度3Q	535.5			
ファーマパッケージング事業	2023年度3Q	439.0	+59.1	+15.6%	589.1
	2022年度3Q	379.9			

営業利益

		【増減額】	【増減率】	2023年度 通期予想 (5月時点)	2023年度 通期予想 (11月時点)
単位：億円					
医療関連事業	2023年度3Q	353.7	+45.8	+14.9%	433.1
	2022年度3Q	307.8			
医薬関連事業	2023年度3Q	53.0	+31.0	+140.4%	71.7
	2022年度3Q	22.0			
ファーマパッケージング事業	2023年度3Q	16.3	△8.9	△35.4%	23.2
	2022年度3Q	25.3			

- **医療関連事業** 原材料費、償却費が高騰するも、国内医薬のネキシウムAG販売好調と注射剤不採算定品目の薬価上昇により営業利益は前年対比で増加。
- **医薬関連事業** コスト増を価格転嫁できたことに加え、原材料費、エネルギー費の抑制により営業利益が前年対比で増加。
- **ファーマパッケージング事業** 売上は増加するも、償却費、労務費、エネルギー費の増加により営業利益は前年対比で減少。

セグメント業績 - ①医療関連事業（国内）

		【増減額】	【増減率】	2023年度 通期予想 (5月時点)	2023年度 通期予想 (11月時点)	
		単位：億円				
国内事業	2023年度3Q	1,745.5				
	2022年度3Q	1,642.9	+102.6	+6.2%	2,423.7	2,325.0
医療機器	2023年度3Q	885.9				
	2022年度3Q	902.9	△17.0	△1.9%	1,314.2	1,215.5
医薬品	2023年度3Q	859.5				
	2022年度3Q	739.9	+119.6	+16.2%	1,109.5	1,109.5
ダイアライザ	2023年度3Q	176.8				
国内 売上高	2022年度3Q	174.7	+2.1	+1.2%	230.4	228.1

- 医療機器** 日本国内のダイアライザの売上高は販売増加により前年対比で2.1億円増加。
 透析機器は、設置案件の減少により、前年対比で8.2億円減少。
 注射針類は需要増加や価格改定により、前年対比で5.3億円増加。
 輸液関連製品は価格改定により、前年対比で10.6億円増加。
 検査製品は、上海ロックダウンの影響で減少していた真空採血管の販売数量が増加したことで、前年対比で1.4億円増加。
 カテーテル類は、国内独占市場であった薬剤溶出バルーンに対して、他社参入による影響を受け、前年対比で35.3億円減少。
- 国内医薬** 経口剤はネキシウムAGを中心に販売数量好調であり、その他既存品が薬価減少の影響により販売が減少をするも、全体では前年対比で68.0億円増加。
 注射剤は抗生物質製剤や輸液製剤において、不採算再算定品目の薬価が上がったことで、前年対比で37.4億円増加。
 その他・体外診断薬等は昨年10月に販売開始したSARSコロナウイルス抗原キットにより、前年対比で11.4億円増加。

セグメント業績 - ①医療関連事業（国際）

		【増減額】	【増減率】	2023年度 通期予想 (5月時点)	2023年度 通期予想 (11月時点)
国際事業	2023年度3Q	1,622.2			
	2022年度3Q	1,463.1	+159.1	+10.9%	2,114.3
					2,285.0
B2B(他社ブランド)	2023年度3Q	200.4			
	2022年度3Q	191.6	+8.8	+4.6%	291.9
					310.2
ニプロブランド	2023年度3Q	1,421.6			
	2022年度3Q	1,271.4	+150.2	+11.8%	1,822.4
					1,974.7
アメリカ	2023年度3Q	604.5			
	2022年度3Q	575.3	+29.2	+5.1%	797.6
					853.9
ヨーロッパ	2023年度3Q	340.6			
	2022年度3Q	274.6	+66.0	+24.0%	396.5
					440.7
アジア	2023年度3Q	270.1			
	2022年度3Q	227.4	+42.7	+18.8%	357.5
					396.4
中国	2023年度3Q	206.3			
	2022年度3Q	194.1	+12.2	+6.3%	270.7
					283.8
ダイアライザ	2023年度3Q	523.4			
	2022年度3Q	467.2	+56.2	+12.0%	685.3
					729.3

● **B2B** 欧州におけるインスリン針の販売好調により、前年対比で24.6億円増加。

● **ニプロブランド** ダイアライザは北米でコロナ期間中の物流遅延に備えて現地代理店が積み上げた在庫を消化するべく、一時的に販売が停滞しているが、中国、ヨーロッパ、アジアで好調のため、前年対比51.7億円増加。
米州ではカナダでのワクチン用シリンジの特需終了、コロナ影響緩和により手袋が販売減少するも、円安影響に加え、中南米での透析センター、メキシコでの透析液の販売拡大により、前年対比で29.2億円増加。
欧州では円安影響に加え、血液回路、セーフタッチPSVの販売増加により、前年対比で50.1億円増加。
アジアでは円安影響に加え、IVキャス、シユアフューザーの販売増加、IVカメラの入札案件獲得により、前年対比で42.7億円増加。

中国では中国当局による公立病院に対する国産装置優遇購買政策によって、透析機器の販売が減少するも、ダイアライザの販売増加、透析センター拡大により前年対比で12.2億円増加。



セグメント業績 - ② 医薬関連事業

		【増減額】	【増減率】	2023年度 通期予想 (5月時点)	2023年度 通期予想 (11月時点)
単位：億円					
医薬関連事業	2023年度3Q 2022年度3Q	542.4 535.5	+6.9 +1.3%	797.0	715.0
< 受託売上高内訳 >					
ジェネリック品	2023年度3Q 2022年度3Q	284.0 291.6	△7.6 △2.6%	402.6	389.3
先発品・ 長期収載品	2023年度3Q 2022年度3Q	184.2 167.3	+16.9 +10.1%	305.6	223.4
OTC・原薬・ 試作等	2023年度3Q 2022年度3Q	28.1 33.9	△5.8 △17.1%	33.0	45.3
JMIファーマ	2023年度3Q 2022年度3Q	45.9 42.4	+3.5 +8.3%	55.7	56.6

- ジェネリック品
経口剤は顧客の在庫調整による受注減により、前年対比で14.3億円減少。
注射剤は顧客の在庫調整が済み、受注回復したことにより、前年対比で11.1億円増加。
外用剤は品目の受託終了に伴う受注減により、前年対比で4.5億円減少。
- 先発品・長期収載品
経口剤は顧客の在庫調整に伴う受注減により、前年対比で5.8億円減少。
注射剤は新規受託品の出荷開始や、前年減少した製品の出荷回復により、前年対比で25.4億円増加。
外用剤は品目の受託終了により、前年対比で2.7億円減少。
- OTC・原薬・試作等
原薬の受注減により、前年対比で4.6億円減少。
- JMIファーマ
医師へのプロモーション強化、慢性疾患製剤への注力により、
現地通貨ベースでは、前年対比で17.9%増加したが、円高影響により、
日本円ベースでは前年対比で7.9%増加に留まり、前年対比で3.5億円増加。

セグメント業績 - ③ファーマパッケージング事業

		【増減額】	【増減率】	2023年度 通期予想 (5月時点)	2023年度 通期予想 (11月時点)
ファーマパッケージング事業					
2023年度3Q	439.0	+59.1	+15.6%	589.1	608.1
2022年度3Q	379.9				
単位：億円					
< 地域別売上高内訳 >					
日本	2023年度3Q 98.4	+11.1	+12.7%	124.2	127.3
	2022年度3Q 87.3				
海外	2023年度3Q 340.5	+48.0	+16.4%	465.0	480.8
	2022年度3Q 292.5				
ヨーロッパ	2023年度3Q 186.6	+32.1	+20.8%	251.5	267.5
	2022年度3Q 154.5				
アメリカ	2023年度3Q 108.0	+20.2	+23.0%	136.2	144.3
	2022年度3Q 87.8				
中国	2023年度3Q 35.6	△2.2	△5.8%	57.5	51.5
	2022年度3Q 37.8				
インド	2023年度3Q 10.1	△2.2	△17.9%	19.7	17.5
	2022年度3Q 12.3				

- **日本** 輸液関連製品はインジェクションセットの市場シェア拡大により、前年対比で5.3億円増加。
注射針類は他社向け製品の販売増加により、2.8億円増加。
注射剤・輸液は競合他社の供給問題に伴う代替出荷増により、前年対比で2.2億円増加。
- **海外** 欧州ではアンプルが競合他社の販売製品見直しの影響により、前年対比で10.1億円増加。
生地管は販売価格への原価高の価格転嫁と受注増により、前年対比で7.2億円増加。
シリンジ硝子は高付加価値品の滅菌シリンジの販売増加により、前年対比で5.3億円増加。
米国ではバイアルがインフレ影響を踏まえた価格改定により、前年対比で12.3億円増加。
生地管が販売価格への原価高の価格転嫁できたことにより、前年対比で7.7億円増加。
中国では生地管がワクチン用バイアルの需要減少に伴う販売減少により、前年対比1.4億円減少。
バイアル硝子は利益率の低いバイアルの生産・販売の段階的な収束により、前年対比0.8億円減少。
インドでは生地管が顧客の在庫調整や顧客との契約終了により、前年対比で3.3億円減少。

セグメント別・製品群別の売上高

製品	セグメント	医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパケ ージング事業	その他 事業	合計
	単位：億円					
医療機器	2023年度3Q	2,449.1	0.0	(※3) 31.6	0.0	2,480.7
	2022年度3Q	2,325.4	0.0	25.3	0.0	2,350.7
医薬品	2023年度3Q	(※1) 953.5	(※2) 542.4	5.3	0.0	1,501.3
	2022年度3Q	816.2	535.5	3.0	0.0	1,354.8
ファーマ パッケージング	2023年度3Q	0.7	0.0	401.0	0.0	401.7
	2022年度3Q	0.2	0.0	350.0	0.0	350.3
その他	2023年度3Q	0.0	0.0	0.9	6.4	7.4
	2022年度3Q	0.2	0.0	1.4	5.3	7.0
合計	2023年度3Q	3,403.4	542.4	439.0	6.4	4,391.3
	2022年度3Q	3,142.2	535.5	379.9	5.3	4,063.0

(※1) 自社ジェネリック医薬品

(※2) 受託製造医薬品

(※3) 注射針類、輸液関連製品、検査製品

セグメント別・地域別の売上高

セグメント 地域		医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパケッ ジング事業	その他 事業	合計
	単位：億円					
日本	2023年度3Q	1,707.3	491.7	98.7	6.3	2,304.1
	2022年度3Q	1,597.0	490.5	87.8	5.2	2,180.8
海外計	2023年度3Q	1,696.1	50.7	340.2	0.0	2,087.2
	2022年度3Q	1,545.1	44.9	292.0	0.0	1,882.1
アメリカ	2023年度3Q	678.9	0.0	102.4	0.0	781.5
	2022年度3Q	640.2	0.0	86.0	0.0	726.2
ヨーロッパ	2023年度3Q	387.5	2.3	188.9	0.0	578.7
	2022年度3Q	349.9	0.9	151.3	0.0	502.2
中国	2023年度3Q	256.2	0.2	35.7	0.0	292.1
	2022年度3Q	244.7	0.1	36.7	0.0	281.5
その他アジア	2023年度3Q	373.4	48.1	13.1	0.0	434.7
	2022年度3Q	310.2	43.9	17.9	0.0	372.0
合計	2023年度3Q	3,403.4	542.4	439.0	6.4	4,391.3
	2022年度3Q	3,142.2	535.5	379.9	5.3	4,063.0

● **地域別** 地域別売上高比率は国内52.5%、海外47.5%であり、いずれの地域も販売は堅調。

● **セグメント別** 医療関連事業について国内医療機器はカテーテル類、透析機器の販売が減少。一方で医薬品はネキシウムAGの販売好調と注射剤不採算再算定品目の薬価上昇により販売増加。国際医療機器は円安の影響と中南米における透析センター拡大により販売増加。

医薬関連事業は、海外はJMIファーマの販売が堅調に推移。

日本では経口剤が顧客の在庫調整に伴う受注減により販売減少したものの、注射剤の受注回復により全体では増加。

ファーマパッケージング事業は円安の影響と販売価格へのコスト転嫁により欧州で生地管、アンプル、米国で生地管、バイアルが増加。



製品分類表

医療機器区分	
ダイアライザ	ダイアライザ（人工腎臓透析器）、HDFフィルター
透析機器	透析システム、メンテナンス、透析機器部品
その他透析関連	血液回路、AVFニードル（翼付留置針） 他
注射針類	PSVニードル（翼付留置針）、セーフタッチニードル 他
バスキューラ関連製品	循環器治療用カテーテルセット、血栓吸引カテーテル 他
輸液関連製品	輸液セット、IVカヌラ 他
検査製品	ネオチューブ、採血針 他
糖尿病関連製品	インスリン針、血糖測定器（海外向け）、ランセット
SD関連製品	補助人工心臓、人工肺、整形外科製品
その他	医療器械、血液関連製品、培養商品、手袋 他
医薬品区分	
経口剤	経口剤
注射剤・輸液	シリンジキット、バイアル製剤、PLW、粉末透析剤、透析液 他
外用剤・貼付剤	外用剤、貼付剤
その他・体外診断薬 等	診断薬、医薬品、血糖測定器 他
ファーマパッケージング区分	
生地管関連	医薬用生地管、非医療用生地管、硝子原料
アンプル硝子	アンプル（シングルチップ、ダブルチップ）
バイアル硝子	バイアル（ブローバック、スクリュー、滅菌済等）
シリンジ硝子	シリンジ（ルアーロック、ルアースリップ、滅菌済等）
ゴム栓・栓体類	ゴム栓、栓体、栓・キャップ類
プラスチック容器	プラスチック品
魔法瓶	魔法瓶用硝子
その他	硝子容器その他、特殊硝子容器、カートリッジ硝子その他など

製商品別売上高（1）

事業分類	全社				海外				日本			
	2022年度3Q	2023年度3Q	増減額	増減率	2022年度3Q	2023年度3Q	増減額	増減率	2022年度3Q	2023年度3Q	増減額	増減率
[医療機器]												
ダイアライザ	641.9	700.2	+58.2	+9.1%	467.2	523.4	+56.2	+12.0%	174.7	176.8	+2.0	+1.2%
透析機器	166.1	167.4	+1.3	+0.8%	105.7	115.3	+9.5	+9.1%	60.3	52.0	△8.2	△13.7%
その他透析関連	341.4	402.5	+61.0	+17.9%	277.8	337.3	+59.4	+21.4%	63.6	65.2	+1.5	+2.5%
透析関連製品計	1,149.5	1,270.2	+120.7	+10.5%	850.8	976.1	+125.2	+14.7%	298.7	294.1	△4.5	△1.5%
注射針類	368.4	362.1	△6.3	△1.7%	246.4	234.8	△11.6	△4.7%	121.9	127.3	+5.3	+4.4%
バスキュラー関連製品	260.7	236.1	△24.5	△9.4%	52.3	56.5	+4.1	+8.0%	208.3	179.6	△28.6	△13.8%
輸液関連製品	136.3	161.8	+25.4	+18.7%	50.1	64.9	+14.7	+29.4%	86.2	96.9	+10.6	+12.4%
検査製品	89.4	93.4	+4.0	+4.5%	62.8	65.3	+2.5	+4.0%	26.5	28.0	+1.4	+5.6%
糖尿病関連製品	65.2	80.6	+15.3	+23.6%	55.7	70.5	+14.7	+26.5%	9.4	10.0	+0.6	+6.4%
SD関連製品	51.0	64.4	+13.3	+26.2%	10.7	15.0	+4.2	+39.9%	40.3	49.4	+9.0	+22.5%
その他	227.1	206.0	△21.1	△9.3%	139.0	117.9	△21.1	△15.2%	88.1	88.1	0.0	△0.0%
部 門 計	2,348.0	2,474.9	+126.9	+5.4%	1,468.2	1,601.2	+133.0	+9.1%	879.7	873.7	△6.0	△0.7%
[医薬品(自社)]												
経口剤	320.0	388.2	+68.2	+21.3%	0.3	0.5	+0.1	+37.8%	319.6	387.7	+68.0	+21.3%
注射剤・輸液	372.4	427.5	+55.1	+14.8%	73.8	91.5	+17.6	+24.0%	298.6	336.0	+37.4	+12.5%
外用剤・貼付剤	50.0	52.6	+2.6	+5.2%	-	-	-	-	50.0	52.6	+2.6	+5.2%
その他・体外診断薬 等	73.7	85.0	+11.2	+15.3%	2.2	2.1	△0.1	△7.2%	71.4	82.9	+11.4	+16.0%
部 門 計	816.2	953.5	+137.2	+16.8%	76.4	94.1	+17.6	+23.1%	739.8	859.4	+119.5	+16.2%
[再生医療]												
再生医療等製品	2.7	5.7	+3.0	+108.6%	-	-	-	-	2.7	5.7	+3.0	+108.6%

製商品別売上高（2）

事業分類	単位：億円	全社				海外				日本			
		2022年度3Q	2023年度3Q	増減額	増減率	2022年度3Q	2023年度3Q	増減額	増減率	2022年度3Q	2023年度3Q	増減額	増減率
【医薬品(受託)】	経口剤	230.3	212.9	△17.4	△7.6%	0.3	0.3	0.0	△15.7%	229.9	212.6	△17.3	△7.6%
	注射剤・輸液	203.3	242.2	+38.8	+19.1%	1.2	3.1	+1.9	+162.0%	202.1	239.0	+36.8	+18.2%
	外用剤・貼付剤	37.4	28.8	△8.6	△23.0%	0.3	0.2	△0.1	△26.5%	37.0	28.5	△8.5	△23.0%
	その他・体外診断薬 等	24.8	17.8	△6.9	△28.1%	0.4	1.0	+0.5	+105.4%	24.3	16.8	△7.5	△30.8%
	部 門 計	496.0	501.8	+5.7	+1.2%	2.4	4.7	+2.3	+93.6%	493.6	497.0	+3.4	+0.7%
【医薬品(JMIP)】	経口剤	42.1	45.4	+3.3	+8.0%	42.1	45.4	+3.3	+8.0%	-	-	-	-
	注射剤・輸液	0.3	0.4	+0.1	+28.0%	0.3	0.4	+0.1	+28.0%	-	-	-	-
	部 門 計	42.4	45.9	+3.4	+8.2%	42.4	45.9	+3.4	+8.2%	-	-	-	-
【ファーマ パッケージング】	生地管関連	87.0	98.3	+11.2	+12.9%	70.7	81.3	+10.6	+15.1%	16.3	17.0	+0.6	+3.7%
	アンプル硝子	48.8	60.8	+11.9	+24.5%	48.7	60.7	+11.9	+24.5%	0.1	0.1	0.0	+14.7%
	バイアル硝子	122.1	137.1	+14.9	+12.3%	109.1	123.6	+14.4	+13.3%	13.0	13.5	+0.4	+3.8%
	シリンジ硝子	45.7	52.8	+7.0	+15.5%	45.4	52.8	+7.3	+16.2%	0.3	0.0	△0.2	△90.1%
	ゴム栓・栓体類	13.8	14.5	+0.7	+5.1%	4.5	4.9	+0.3	+7.5%	9.2	9.6	+0.3	+3.9%
	プラスチック容器	13.9	14.2	+0.2	+2.0%	0.0	0.0	0.0	+105.1%	13.9	14.2	+0.2	+2.0%
	魔法瓶	2.9	4.2	+1.2	+43.0%	-	-	-	-	2.9	4.2	+1.2	+43.0%
	その他	15.6	19.5	+3.8	+24.9%	13.2	17.2	+3.9	+30.2%	2.3	2.2	△0.1	△4.3%
	部 門 計	350.3	401.7	+51.4	+14.7%	291.8	340.7	+48.8	+16.7%	58.4	61.0	+2.6	+4.5%
【その他】	生産機械販売・不動産賃貸	7.0	7.4	+0.3	+5.1%	0.6	0.3	△0.2	△46.9%	6.4	7.0	+0.6	+10.2%
連結合計		4,063.0	4,391.3	+328.3	+8.1%	1,882.1	2,087.2	+205.0	+10.9%	2,180.8	2,304.1	+123.3	+5.7%

本資料における予測数値等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績等は今後の様々な要因により、本資料の記載事項と大きく異なる可能性があります。

